

# 橘ときわっ子

学校だより第14号  
令和5年11月17日  
武雄市立橘小学校  
校長 坂井 文明



— やればできる みかけば光る 一歩でも前進 続けて 続けて —

学校教育目標 「生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐときわっ子の育成」

☆学力向上 ☆官民一体型学校づくりの推進 ☆ICT活用教育の推進 ☆コミュニティ・スクールの導入促進

## 佐賀県インフルエンザの患者急増 4年ぶりに「警報」発表

11月中旬に入り、急に冷え込み出しました。佐賀県内及び武雄市の小中学校でもインフルエンザの流行を耳にする機会が増えました。

佐賀県は県内でインフルエンザの患者が急増しているとして、15日、「注意報」から「警報」に引き上げました。警報の発表は4年前の2019年以来だそうです。

橘小学校でも、11月に入り、罹患者が徐々に増え始め、今現在学級閉鎖までは至らないものの予断を許さない状況です。毎日の健康観察や欠席の連絡を見極め、引き続き、感染症拡大防止に努めているところです。具体的には、常時換気とこまめな手洗いと消毒、時と場に応じたマスク着用を徹底しています。また、人混みを避けて十分な栄養と休養を確保することが大切です。

インフルエンザに感染した場合は、学校保健安全施行規則で、発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまでは出席停止となっています。新型コロナウイルス感染症にあたっては、発症した後5日間を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまでとなっています。

感染したら、重症化しないように静養するとともに感染症拡大防止に努めることが大切です。医師の診断をもとに学校への連絡もよろしくお願ひします。

## 6年生薬物乱用防止教室

11月2日(木)5校時に、学校薬剤師の宮崎幸久様による6年生「薬物乱用防止教室」を行いました。薬物とは何か、薬物の種類、薬物の乱用と刑罰、薬物乱用が体に及ぼす害などについて講話をしていただきました。また、DVD「ダメ。ゼッタイ。」を視聴し、実際の薬物の形態等について学んだり、シンナーが発泡スチロールを溶かす実験を見ることで、薬物が身体に及ぼす影響を目の当たりにしていただきました。成長期の子どもにとって、薬物は脳に深刻なダメージを与えてしまうため、どんな誘いにも負けない勇気と強い意志をもってきっぱりと断ることが大切であることを実感していました。



## 橘町文化作品展・4年生ふれあい祭り参加

11月1日(水)～11月5日(日)に、地域の人々のふれあいの機会をつくり、積極的な交流を生み出すことで、コミュニケーションを活性化し、地域の絆を強くすることを目的として、「橘町文化作品展」「駅伝大会」「ふれあいの集い」が開催されました。

「文化作品展」では、橘小学校から1年生から6年生までの絵画や書道の作品を出展しました。「駅伝大会」では、地域の一員として、小学生も大活躍でした。「ふれあいの集い」では、4年生が、「ダンス&鼓笛」を披露しました。見事な鼓笛とキレキレのダンスでした。坂元教諭のドラム演奏も見事でした。



## 2年生営農学級みそづくり

11月16日(木)2校時に2年生営農学級「みそづくり」が行われました。JA営農教室の皆さんに講師を務めていただき、ゆでた大豆をグループでたらいの中につぶし、米麴と塩を混ぜ、大豆のゆで汁で硬さを調整していきます。みその感触を味わいながら、楽しくみそづくりができました。



## ブックフェス

11月7日(火)～13日(月)まで、第2回ブックフェスが開催されました。ブックフェスでは、クイズやしおりづくり、お話会が行われました。

10月までの一人当たりの図書貸出冊数の平均は、表のとおりです。年間150冊をめざして、読書にいそしみ、心と知識を豊かにしましょう。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	年間月平均
1年	7.6	36.3	39.8	17	5.5	32	32.6	14.2
2年	14.8	28.3	30.8	14.8	5.1	28.4	28.2	12.5
3年	14.4	28.2	29.4	13.3	1.6	24.9	24.4	11.3
4年	16.6	29.0	28.0	14.1	3.8	28.6	27.9	12.3
5年	7.6	17.3	28.8	8.2	0	9.2	7.6	6.6
6年	8.4	13.6	21.2	8.4	0	10.7	14.9	6.4
全学年	11.6	25.4	29.7	12.6	2.7	22.3	22.6	10.6